

横浜川崎国際港湾株式会社及び 台湾国際港湾有限公司の 協力に向けた覚書を締結しました。

横浜川崎国際港湾株式会社(YKIP)は、平成29年6月28日、台湾国際港湾有限公司(TIPC)と、台湾・高雄市の君鴻国際ホテルにおいて、港湾運営等に関する相互協力に向けた覚書を締結しました。



<覚書の概要>

【目的】YKIP、TIPC間の相互理解、友好関係強化、事業活動における相互協力に向けた研究

【研究協力分野】

港湾開発、港湾管理・運用、物流パークの開発・強化、情報共有 ほか

<台湾国際港湾有限公司(TIPC)について>

- ・2012年3月1日に発足した、100%政府出資による株式会社
- ・高雄、基隆、台中、花蓮の4大港湾とその周辺地域の港湾行政は、従来交通部の各港務局が管轄してきたが、各港を統合してTIPCが一体的に運営を担うこととなった。
- ・本社は高雄市。高雄港、基隆港、台中港、花蓮港にそれぞれ支社が設置され各港を担当している。

当社は、戦略港湾の運営主体として、海外の港湾運営主体等との交流等を今後も推進していきます。

問合せ先

横浜川崎国際港湾(株)総務部長兼総務課長 中村 一己 Tel: 045-680-6583 FAX:045-680-6637